

平成25年行政事業レビューシート

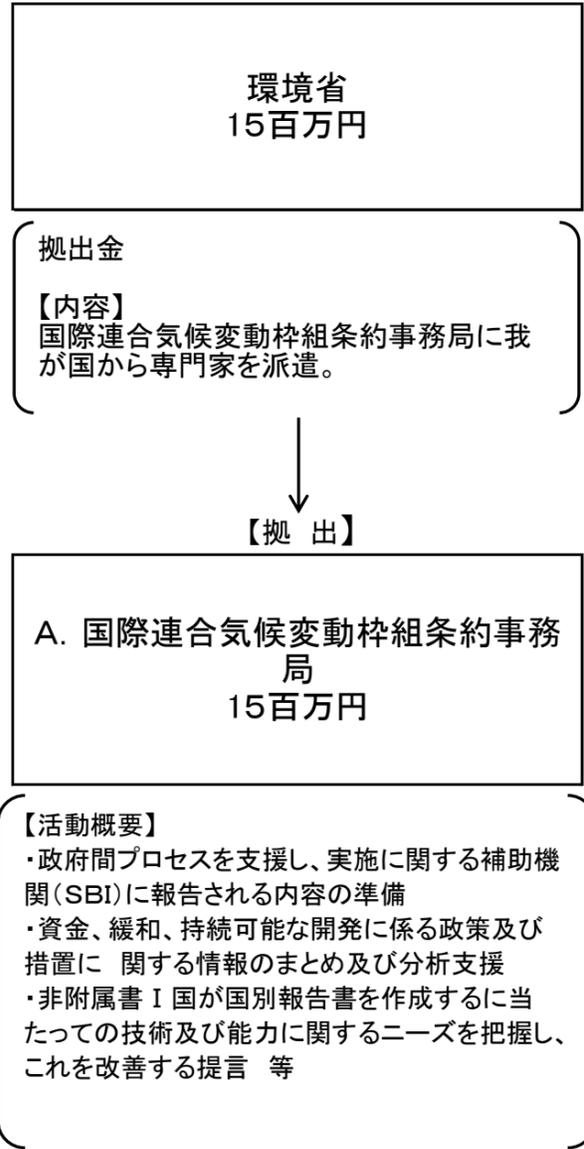
(環境省)

事業名	国際連合気候変動枠組条約事務局拠出金		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～未定		担当課室	総務課		課長 正田 寛		
会計区分	一般会計		政策・施策名	2. 地球環境の保全 2-2 地球環境保全に関する国際連携・協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本が国際的なリーダーシップを発揮しながら国際的な連携を強化し、各国政府や国際機関等との連携を強化するため、国際連合気候変動枠組条約事務局に我が国から専門家を派遣し、同事務局との意思疎通を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	同事務局に我が国から専門家を派遣し、同事務局との意思疎通を促進することにより求める主な成果は以下のとおり。 ・政府間プロセスを支援し、実施に関する補助機関(SBI)に報告される内容の準備 ・資金、緩和、持続可能な開発に係る政策及び措置に関する情報のまとめ及び分析支援 ・非附属書I国が国別報告書を作成するに当たっての技術及び能力に関するニーズを把握し、これを改善する提言等							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	17	17	16	17	17	
	執行額	17	17	15				
	執行率(%)	100.0%	100.0%	99.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	国際機関への拠出金の成果を数値等、定量的に現すことは困難。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際機関への拠出金の活動指標・実績を数値等、定量的に現すことは困難。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
					(—)	(—)	(—)	
単位当たりコスト	— (円/ —)		算出根拠	—				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構等拠出金	17	17	—				
計	17	17						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費 必要 投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国が国際的なリーダーシップを発揮しながら国際的な連携を強化していくことが、国内外から期待されている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業 の 効率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	我が国の専門家の同事務局での必要最小限の活動費用に限定されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業 の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	同事務局に専門家を派遣し、意思疎通を強化することで、同事務局の活動を通じた地球温暖化対策に貢献している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	地球温暖化対策は人類共通の課題であり、すべての主要な国が参加する公平かつ実効性が確保された国際的な枠組の下に取り組むことが重要である。国連気候変動枠組条約事務局に派遣される専門家を通じて、国際会議の場で我が国が国際的にリーダーシップを発揮し、国際連携をより強化して温室効果ガスの排出削減に努める必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	引き続き必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	必要最低限の要求額とした。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	021	平成23年	018	平成24年	018

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A. 国際連合気候変動枠組条約事務局			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	拠出金	国際連合気候変動枠組条約事務局への拠出金	15			
	計		15	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A. 国際連合気候変動枠組条約事務局	国際連合気候変動枠組条約事務局への拠出金	15	—	—